

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「束縛のない自由な暮らしと様々なレクリエーションに組み込み、生き生きと元気で、その人らしい日常生活が送れるように優しいまなざしで支援します。」という理念を作りあげている。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>常に意識できるようホールや事務所に理念を掲げ、その人にあつた支援を実践している。気がついたことがあれば、個人記録・申し送りノートを活用したり、カンファレンスや会議で話し合いをしたりと共有するように取り組んでいる。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>散歩や買い物に出かけ、地域の方によるボランティアの朗読会もある。また、祭りや敬老会でも地域の方との交流を深めている。ご家族にも理解して頂くために、これらのようなレクリエーションや行事のことを面会時や広報を通してお伝えしたり、一緒に参加して頂くこともある。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>天気の良い日は近所を散歩するようにしている。散歩中、顔なじみになったご近所の方が挨拶をしてくださり、立ち話をすることもある。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に加入。毎年恒例の神社の祭りや敬老会に参加し、地域の交流に努めている。</p>	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>事業所独自に地域の高齢者の暮らしに役立つような取り組みは今のところしていないが、今年度は認知症サポート養成講座(オレンジ研修)に参加し 全職員 地域での取り組み・ありかたについて学んだ</p>	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>以前、外部評価で指摘されたところは、職員会議で話し合い改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域包括支援センター、老人クラブ、自治会長、民生委員、家族、利用者代表で行っている。ホームの近況報告や意見交換をし、そこでの意見を職員会議でも話し合った上、サービス向上に取り組んでいる。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ケアマネが市町村の主催する事業者連絡会に時々参加している。研修会には職員も時々参加している。</p>	○	<p>参加する回数は少ない。もう少し積極的に参加する機会を設ける</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>開設当時、成年後見制度を利用していた利用者がいたが、その後はなし。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待はあってはならないことであり、常に注意を払っている。また、研修や資料で高齢者虐待について学んでいる。</p>		

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書及び重要事項説明書を十分説明し、理解している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者の意見に耳を傾けている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>細やかな日常生活は三ヶ月に一度の広報でお知らせしている。面会時にも生活の様子をお伝えしている。必要経費は各自、月末請求させていただいている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置していたが利用がなく、ご家族が来所の際、ご意見ご要望等をお伺いするようにしている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回のカンファレンス終了後、意見交換を行い、普段は連絡帳を使い全員に報告している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>何か問題があればすぐに対応出来る状態にある。家族の要望に沿えるように計画等をしている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>設立当初から離職率も低く、職員が変わっても同じサービスが受けられるようにフォローしている。</p>	

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>常勤、非常勤共に内、外部研修にも参加し、研修発表の場を設けている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームと職員1名交換し、交換研修を行い質の向上に努めている。グループホーム協議会に加入し時々参加している。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>希望の休日が取れるよう工夫し、年2回の食事会を設けている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員が創意工夫をして行うこと、自主的に行うことは尊重している。個々の利用者の心身の状況を常に考えながら職員一人一人が、自覚をもってケアをするように話している。職員が、向上心をもてるようにチームワークの徹底には気をつけている。</p>	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人の話を聞く姿勢、受け止めることを普段から大切にし、信頼関係を築く努力をしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>主に面会時に意見を聞き、話し合い、対応に努めている。</p>	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族からの要望やご本人の会話の中で必要と思われるサービスがあったときは、即対応が出来るように心がけている。		指圧・マッサージ(週1・週3)
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来ればご本人にも見学していただいてホームの雰囲気を感じてもらい、不安があればスタッフ・ご家族と相談しながら不安の軽減に努め、馴染んで頂けるよう他者との仲介も努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を共に過ごすことで互いに教えあったり学んだり、支えあう関係を築き、ご本人から得たり学んだことは全スタッフ共有し、全スタッフがご本人を支えられるようにしている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、時には電話にてご本人の日常の様子や変化などをお伝えしている。来所の際にはお茶を飲み、談笑やレクリエーションを共に楽しめることもある。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人ご家族の思いを大切にし、その思いを尊重し支援していく中で、会っていない間の空白がないように努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会される方や、手紙・電話の取次ぎを行ったり、いつでも今までの関係が途切れないように環境づくりに努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	体操、散歩、レクリエーションや家事などの参加を通じて入居者同士の交流の場を設けている。会話が不十分な方とでも紙芝居や外のベンチで座ったり、スタッフが間に入ることで関わり合いや支えあうように努めている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	死亡退所後には一周忌には花を贈ったり、病院への入院などの都合で退所された場合は職員が入居者への面会に行くなど、ご家族の来訪はあまりないが付き合いを大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の思いや希望はスタッフ全員で受け止めて本人の言動もふまえたうえで本人の立場に立てるよう、月一回のカンファレンス等でもさらに話し合い対応を検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントも含めてご家族やご友人の来所の際は日常会話の中から把握するように努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝のミーティングの中で一人一人の心身の状態を把握し、バイタルチェック、健康管理を記録し変化にいち早く気づけるよう心がけ気づきがあれば即対応をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族の面会時や電話でコミュニケーションをとり、介護計画に関する意見を聞き、カンファレンスで十分に検討し介護計画を作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月一回のカンファレンスにて現状の把握に努め、ご本人ご家族の思いを尊重し、ご本人のニーズに合った計画の見直しをしている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ全員が日誌、記録を周知しているが詳細に記録できないこともあり、その場合は口頭で補足し情報共有し日々の気づきを介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ニーズがあったときには即対応が出来るよう全スタッフは臨機応変にご本人ご家族の方々が安心していただけるよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月2回の音楽療法月1回の生け花教室や朗読会やボランティアの来訪をはじめ、年に1回の消防訓練や地元の行事など地域とのつながりを大切にしている。運営推進会議でも民生委員の方に参加していただき、意見交換の場を行っている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	出張理美容、マッサージ、歯科、病院往診など利用している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	主に運営推進会議などで支援センターの方とホームのことなども話し合い情報交換も行っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎日の健康管理を行い、毎週水曜日は看護師によるバイタル測定、金曜日は医師の往診を受け、24時間急変時にも連絡体制を確立している。その他、必要に応じ、歯科の往診を実施している。		

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員同士の伝達事項は イニシャルで呼び合い ご本人に気づかれないように配慮している	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個人の特性を考慮しすすんで お手伝い出来る環境のもとで ご本人の意思を尊重した支援をすすめるように努めている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由で束縛のない暮らしを心がけており 音楽や散歩など気分転換もし有意義で楽しい時間や生活が過ごせるように支援している	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1度 美容師の方に訪問していただき カットやご本人や家族の要望に応じてパーマや 職員による毛染めを行ったり メイクアップボランティアやなどで普段より おしゃれを楽しんでもらえるように支援している	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と共に個人のスキルに合わせ料理や配膳準備、後片付けなど一連の流れを行い楽しい食事につながり 日々のコミュニケーションの場、個々の力を活かす場面作りに活かしている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きな物を選んでもらえるように 色々な物を取り揃えており 時には一緒に買い物に行き好きな物を選んでもらっている	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりのタイミングを見計らって、声掛けや誘導をし排泄の失敗を減らすように努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1度の入浴を目安に入浴日を設定しているが、心身状態により毎日入浴していただいたり、逆に体調に合わせて入浴日を調整している 中には拒否の強い方もおられるが言葉掛けやタイミングを工夫し入浴を勧めている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1人1人の生活習慣や心身の状況に合わせた臥床の促しや、寝つけない方へは 安心し少しでも休息・睡眠をとっていただけるように お話を伺ったり 温かい飲み物を差し上げるなどの環境づくりをしている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や能力に応じて掃除、料理、後片付け、洗濯などを日課にし、張り合いのある日々を送る中で散歩や唱歌、ドライブなど気晴らしの為の支援も行っている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を持つことで安心される利用者には財布とお小遣いを持って頂いている。他はホームで管理している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人並びに 御家族の希望に合わせて 外食・植物園・美術館・デパート・旅行・ご自宅への外泊など ご自由に御家族との時間を過ごしていただいている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	故郷訪問(2件)。家族と外泊、旅行。年間行事を行うなかで 初詣・お花見・紅葉狩り・外食に行っている 御家族の方とも交流会などの機会を設けている		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご友人や御家族の方など お手紙やお誕生日や母の日等 贈り物が届いた際は お礼の電話などをし 今までの関係が途切れないように支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来所された際は、周りを気にする事なく ご本人と快適に楽しい時間を過ごしていただけるように居室にご案内し 茶菓子等で、おもてなしをする		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	声掛けをし、ご本人の意思を尊重して行動出来るように努めている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員一同 束縛のない自由な暮らしを念頭におき 玄関チャイムはあるものの気候の穏やかな日中はドアを開け自由で開放的な施設づくりに取り組んでいる。鍵を掛けないケアなので、今まで警察に捜索をお願いしたり、ご近所の方から通報があったり、心配したことも何度あったが、大事に至らずに済んでいる。	○	運営推進会議では、何かあれば大変だから鍵は掛けたほうがよいとアドバイスを頂くが、常に所在確認を職員全員で取り組んでいる。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1人1人に気配りをし、快適で安全に過ごせるように努めている。徘徊する利用者の所在を特に把握している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	徘徊者がいらっしやり、目にした物なんでも持って回るので常に気をつけている。危険なもの、大事なものは倉庫にて管理している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員研修や緊急マニュアルの把握 病院との連携を密にし とっさの判断や対応が出来るようにスキルアップに努めている		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	カンファレンスで吸引機の使用などの勉強会を行ったり、緊急時にマニュアルをすぐに取りれるところに置いたりしている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	全室、火災報知機を設置し出火場所の確認をいち早く発見出来るようになっている。また定期的に避難訓練を行い、利用者の安全を確保できるように職員一丸となって活動できるよう努めている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時に近況を伝え、リスクやその対応策については特に話し合いをしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	健康管理表にて日々の変化を全職員が共有し、緊急を要する時には診療所に連絡している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に医師に薬の特性を聞いたり、お薬手帳や説明書を保管し把握している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	お天気のいい日は、近所を散策したりテレビ体操をし、体を動かす努力と野菜を中心としたメニューで便秘予防に努めている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	介助が必要な人はもちろんのこと、自立して行える人に対しても一人ひとり確認し、仕上げはスタッフが正しい清潔保持に努めている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体力、また、その日の状態に合わせ粥、刻み食を提供している。また、食事時間も食べる意欲のある時は、おやつ等で対応している。一日の水分量、食事量を記録、管理している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	京都市からの臨時ニュース等の情報も即、職員に伝え対応・注意を強化し又、インフルエンザの予防接種も全職員行っている。感染症予防の研修にも参加し、手洗いうがいをしっかり行い、感染予防に努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾、調理器具などは除菌、漂白などこまめに行い食中毒予防に努めている。新鮮で安全な食材を使用する為、毎日買い物に行くように努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりに花を植えたり気候がいい日は戸を開けたりと、開放的な雰囲気にし、気軽に出入りしやすいようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	西日はカーテンやすだれで調節している。また季節の花を生けたり、季節に合った絵や手作りの作品を飾っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内の中央には利用者自然と集まれるホールがあり、また各々の居室など独りになれる空間もある。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	1人1人使い慣れた物や好みの品を持ち込み居心地よく安心して過ごせる 環境作りを行っている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	午前中は窓を開け換気に努めているが 温度差を感じられる時は衣服等で調節を行い快適な住居作りに努めている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立して出来る事は 個々に任せて行ってもらい身体機能を維持し すこしでも機能低下・身体機能をそこなわないように努力している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の特性を活かせるように 1人1人に合った取り組みをしていただけるように工夫して 暮らせるように努めている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム周辺には四季折々の花が咲き 時には一緒に花を植えたりもし草花の成長と共に外でお茶を楽しんだり団欒の場となっている		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームカスタネット

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ドライブや散策で、気分転換またストレス発散、下肢の筋力低下を防ぐ、外気の取り入れなどでよく出かけている。鍵を掛けないケアを開設以来行っている。